

活動結果報告書

令和7年12月10日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 小 玉 俊 一

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年11月20日（木曜日）～ 11月21日（金曜日）

活動先 地方議会研究会 京都会場 京都JAビル

活動目的 生成AIを活用した議員活動・議会質問を研修し議員活動にどう生かせるか、今後の展開など

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

- ・ 講座名:「生成AIを活用した議員活動の基礎」
- ・ 講師:木村亮太 氏(前枚方市議会議員)

- ・ 講座名:「生成AIを活用した議会質問の作り方」
- ・ 講師:木村亮太 氏(前枚方市議会議員)

受講の目的

生成AIの基本的な仕組みと議員活動や地域課題の解決における活用可能性を学び、今後の実務に応用するため。

講座内容の要点

- ・ 生成AIの基礎知識をChatGPTの仕組み、限界、リスクなど
- ・ 議員活動での活用事例：
 - ・ 一般質問の原稿作成支援
 - ・ 行政資料の要約・分析
 - ・ 住民相談対応の下書き作成
- ・ 演習内容（プロンプト設計の体験、実際の質問文作成演習）

感想

- ・プロンプトの工夫が出力の質を左右することを実感

プロンプトとは、生成AIから回答を得るために指示や促しをして知りたい情報を受け取る下準備段階、このプロンプトの作成を最適化する事が重要性。

- ・議員活動や議会質問作成の効率化に大きく貢献する可能性

資料のリサーチや分析、過去の議事録、行政計画審議会の答申、先進事例調査、論点の抽出などを活用し、活動の効率化ができる。

便利で効率なところではあるが、その反面、十分な情報の正確性や個人情報の扱いには慎重な対応が重要かつ必要な点でもある。

今後の活用

議会内での生成 AI 研修の実施や活用ガイドラインの整備、地域課題（例：福祉・健康・防災）への応用検討などの活用も今後取り入れていく方向も考えてはどうかと考えます。

活動結果報告書

令和8年1月9日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 小 玉 俊 一

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年1月8日(木曜日)～ 1月9日(金曜日)

活動先 地方議会研究会 リファレンス駅東ビル 福岡県福岡市博多区
博多駅東一丁目16-14

活動目的 重要インフラの機能確保・再整備の対策を学ぶ

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

- ・ 講座名:インフラ再整備に向けた議会提言先手を打つ自治体だけが生き残る
- ・ 講師:足立泰美 氏(甲南大学経済学部)

講座内容の要点

インフラ再整備をめぐる三重苦

1. 老朽化 × 自然災害 × 財源不足
2. 「更新の山」と「財政の谷」が同時に来る現実
3. 国の交付金制度や計画策定指針の限界

どこの自治体もインフラの整備に抱える問題が多い中、上記のような問題を少しでも解決する糸口が見られないかと研修に参加。

- ・ インフラは壊れる前に直すが最も安い、LCC（ライフサイクルコスト）視点の予算編成
- ・ DX活用・点検履歴とGISマッピングの連動化など予防保全型予算に切り替える
- ・ 自然災害を見据えた点検、老朽化対策などの維持管理、「予防保全」への全面的転換による着実なインフラメンテナンスの実施

以上の点からも

- ・ 水害・土砂災害から命を守るインフラ強化
- ・ 災害時にインフラの機能を維持するための電源確保
- ・ 交通ネットワークの強化（特に福井県は雪に対しても重要項目）
- ・ 経済・生活を支える身近なインフラの強化

など現場発信の提言を市、議会と住民意見を出し合う。実際住民が身近に災害やインフラのダメージを受ける点も考慮をし、いかに地域や住民のインフラを維持、確保していくかということを考えるにあたり、更新や財政、国の交付金や計画策定の限界などを学べ、参考になる研修会でした。